平成29年度事務事業評価シート

No.133

平成29年6月22日作成

事業番号	34	担当課等	まちづくり課								
事務事業名	交通安全施設整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	08	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P101 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	3 交通安全	(1) 交通安全対策の 充実	① 交通安全施設や歩道 の整備
関連する個別計画	第9次湯河原町交通安全計画				
目的	第9次湯河原町交通安全計画等を基に、関係機関との連携を図りながら、効果的な交通安全施設整備を行う。				
対象	町民、観光客等				
内容	カーブミラーや路面標示等を整備し、町民・観光客等の交通安全の確保を図る。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)		
	事業費	4,114,800	3,815,640	4,000,000			
コスト	人件費	常勤職員	3,047,600	2,998,000	2,913,200		
		非常勤職員等					
	人件費合計	3,047,600	2,998,000	2,913,200			
	総事業費	7,162,400	6,813,640	6,913,200			
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源	4,114,800	3,742,000	4,000,000			
	一般財源	3,047,600	3,071,640				
	財源合計	7,162,400	6,813,640	4,000,000			
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
区画線整備数	施設整備		箇所	7	7	7	
カーブミラー設置数	施設整備		箇所	7	2	3	
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
町内の交通人身事故件数	交通人身事故の減少		件	74	82	事故ゼロ	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	区画線やカーブミラー等の交通安全施設は、道路利用者の交通の安全を確保するためのものであり、その設置及び維持管理は道路管理者として町が実施すべき事業である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	事故の危険性が高い通学路を重点に施設の整備、維持管理を行っており、投入した費用に見合った効果が得られている。 舗装工事等の道路整備事業との連携を図ることで、効率性を図っている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	地域、道路利用者及び学校関係者等からの要望・意見を参考に整備を実施しており、交通安全確保に一定の成果が得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	運転者や歩行者等の道路利用者を対象とした事業であり、受益の機会は均等である。

平成28年度までの自己評価または改善点	歩行者の危険を回避するため、区画線等の路面標示やガードレールの整備を行い、運転者の危険を回避するため、カーブミラーや注意喚起看板の設置及び維持管理を行った。
---------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	国からの交付金を活用し実施している事業であるため、委託・指定管理の導入は難しいと考える。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	小中学校の通学路危険箇所の解消を重点的に行ってきたが、近年、高齢者に関係する事故が増加傾向にあることから、高齢者の事故防止につながる施設整備を検討する。	
平成30年度以降の方向性	道路利用者の交通の安全を確保していくためには、交通安全施設の設置及び維持管理を継続して実施する必要があるため、現状維持とする。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	交通安全の推進と、交通事故の防止を達成するため、継続して事業を実施すること。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

交付金を有効活用すること。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.134

平成29年6月22日作成

事業番号	35	担当課等	まちづくり課								
事務事業名	交通安全対策推進事業										
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	08	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P101 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	3 交通安全	(1) 交通安全対策の 充実	②③ ②交通安全意識の高揚 ③交通安全運動の推進
関連する個別計画	第9次湯河原町交通安全計画				
目的	交通安全運動並びに交通安全教育を推進し、町民及び観光客等の交通安全の確保を図る。				
対象	町民、観光客等				
内容	町内の交通安全対策に関し、関係機関等との連携を図りながら、組織的かつ効果的な交通安全対策を樹立計画するとともに、これを推進し交通事故の防止を図る。 交通安全団体に活動費等を助成する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
コスト	事業費	4,064,219	3,655,717	3,599,000		
	人件費	常勤職員	6,095,200	5,996,000	5,826,400	
		非常勤職員等				
	人件費合計	6,095,200	5,996,000	5,826,400		
	総事業費	10,159,419	9,651,717	9,425,400		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	10,159,419	9,651,717	9,425,400		
財源合計	10,159,419	9,651,717	9,425,400			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
街頭指導及び街頭啓発	小田原交通安全協会湯河原支部	回	21	21	21	
街頭指導及び街頭啓発	湯河原町交通安全母の会	回	33	29	30	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
町内の交通人身事故件数	交通人身事故の減少	件	74	82	事故ゼロ	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	警察、交通安全対策推進協議会、交通安全協会及び交通安全母の会等と連携し取り組む必要があるため、町が主体で実施すべき事業である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	交通安全対策推進協議会、交通安全協会及び交通安全母の会が実施する交通安全に係る事業に対して、町から委託金や活動謝礼金等により支援を行っているが、その費用に見合った効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	年間を通じて交通安全に関する街頭啓発、一声運動、交通安全パトロール、交通安全教室等を開催し、交通安全の推進と交通安全意識の高揚に努めており、一定の成果が得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	各団体が実施する交通安全に係る事業の対象は、町民・観光客等であり、受益の機会は均等である。

平成28年度までの自己評価または改善点	小田原警察署や関係機関の協力を得て、交通安全運動期間中の街頭啓発や高齢者宅戸別訪問などを行い、交通安全の意識向上を図っている。
---------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	警察、交通安全対策推進協議会、交通安全協会及び交通安全母の会等と連携し取り組む必要があるため、委託・指定管理の導入は難しいと考える。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	高齢者の交通事故を抑止するため、小田原警察署や関係機関と連携し、高齢者を対象とした交通安全教室の実施について検討する。	
平成30年度以降の方向性	交通安全の推進と交通安全意識の高揚を図り、交通事故の防止を達成するためには、今後も各団体と連携しながら事業を実施していく必要があるため、現状継続とする。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	交通安全の推進と、交通事故の防止を達成するため、継続して事業を実施すること。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.135

平成29年6月22日作成

事業番号	279	担当課等	まちづくり課							
事務事業名	木造住宅耐震化補助事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	01	事業開始年度	平成 21 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P97 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	1 防災・危機管理	(1) 防災対策の推進	
関連する個別計画	湯河原町耐震改修促進計画				
目的	旧耐震基準(昭和56年5月以前に建築された建物)で建築された町内の木造住宅の所有者に対し耐震改修費等の補助を行い、町内の住宅の耐震化を促進する。				
対象	補助金交付要綱の要件を満たす者				
内容	昭和56年5月以前に建築された町内の木造住宅の耐震化を図るため、耐震診断に係る費用、補強設計及び耐震改修工事に係る費用を補助する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費	1,000,000	543,000	1,200,000		
コスト 人件費	常勤職員	156,770	123,368	209,797		
	非常勤職員等					
	人件費合計	156,770	123,368	209,797		
総事業費	1,156,770	666,368	1,409,797			
財源内訳	国庫支出金	500,000	271,000	600,000		
	県支出金	234,000	117,000	254,000		
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	422,770	278,368	555,797		
財源合計	1,156,770	666,368	1,409,797			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
補助金交付件数	耐震化率の向上につながるため	件	4	3	8	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	3	本来は、住宅所有者が自主的に実施するものだが、町内の住宅の耐震化を行うことは住民の生命や財産を守ることにつながるので、町で実施すべき事業である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	3	耐震化に係る費用の一部を補助することで、耐震化の促進が図られることから、投入した費用に見合った効果が得られていると考える。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	2	補助対象となる住宅数に対して、耐震改修工事を実施する件数が少なく、また目標値にも達していない。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	補助金交付要綱の要件を満たせば、誰でも補助金の交付を受けることができることから、受益の機会は均等であると考ええる。
平成28年度までの自己評価または改善点	本事業の補助制度を活用して耐震改修を実施する件数が少ないため、住民等に対し、補助制度の更なる周知を行い、補助制度の活用及び耐震化の促進を図る。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町税等の滞納状況の確認作業等の個人情報の取り扱いがあるため、業務委託は難しい。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	補助制度について、町広報誌、地方紙等による広報のほか、イベント等におけるPRを行うなど、周知の機会を増やしていく。	
平成30年度以降の方向性	町内の住宅の耐震化の向上を図るため、本事業を継続して実施する。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	補助金を交付することで、木造住宅の耐震化が促進されることから、継続して実施すること。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.136

平成29年6月22日作成

事業番号	1010	担当課等	まちづくり課							
事務事業名	駅前広場整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	01	事業開始年度	平成 22 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P110 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	1 土地利用	(2) 駅前・まち並みの 整備	① 駅前地域の整備
関連する個別計画	駅前広場整備構想				
目的	本町の重要な玄関口である駅前広場について、温泉観光地としてふさわしい湯けむりの感じられる空間として整備する。				
対象	町民、駅利用者、鉄道、バス及びタクシー事業者				
内容	駅前広場の整備を実施するため、平成23年度は駅前広場整備事業基本計画、平成24年度は駅前広場整備事業基本設計、平成25年度は駅前広場整備事業実施設計を策定し、それに基づき平成27年度より3か年で整備を実施する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費	170,435,397	222,338,310	423,070,993	
人件費	常勤職員	7,619,000	9,066,679	3,596,535	
	非常勤職員等				
	人件費合計	7,619,000	9,066,679	3,596,535	
総事業費	178,054,397	231,404,989	426,667,528		
財源内訳	国庫支出金	39,840,000	68,900,000	29,100,000	
	県支出金				
	地方債	103,400,000	143,200,000	168,700,000	
	その他特定財源				
	一般財源	34,814,397	19,304,989	228,867,528	
財源合計	178,054,397	231,404,989	426,667,528		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
整備率	整備の進捗 (総事業費:841,034千円)	%	20.3	26.4	50.3

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	湯河原駅前広場は、町で都市計画決定をした公共施設であるため、整備に当たっては町が実施すべき事業である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	駅前広場整備を実施するに当たり、駅前整備を推進する協議会等の意見を参考に整備内容等を決めた経緯があり、整備完了後には費用に見合った効果が得られると考えている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	駅前広場を温泉観光地にふさわしい湯けむりの感じられる空間として、整備完了後には、駅周辺のにぎわいが創出され、観光客の増加が見込まれると考えている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	駅前広場は、町民や駅利用者が利用する施設であり、受益の機会は均等である。

平成28年度までの自己評価または改善点	平成27年8月10日に駅前広場整備工事の契約を締結し、スケジュールどおり工事は進んでおり、契約工期の平成29年10月10日には完成する予定である。
---------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	国からの交付金を活用し実施している事業であり、また、JRとの協議も必要なことから、委託・指定管理の導入は難しいと考える。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	駅前広場整備工事の契約工期である平成29年10月10日までに工事が完了するため、平成29年度で事業完了。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	平成29年10月10日で工事完了予定。
------	----	---------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	
------	----	--

平成29年度事務事業評価シート

No.137

平成29年6月22日作成

事業番号	1133	担当課等	まちづくり課							
事務事業名	湯元通り街なみ環境整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	01	事業開始年度	平成 26 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P110 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	1 土地利用	(2) 駅前・まち並みの 整備	② 温泉場地区のまち並 整備
関連する個別計画					
目的	「湯河原町景観計画」を踏まえ、観光客が散策したくなるような温泉場の情緒を残したまち並みの保全、創出を図るもの。				
対象	町民、観光客及び湯元通りまちなみ協定区域内の土地建物所有者				
内容	藤木橋からこごめ橋までの間に位置する湯元通り地区の街なみの保存や活性化を図る為、全体計画の策定、道路等の街路空間の整備及び住民等が行う民間建築物等の修景整備に対して補助金の交付を実施するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費	3,666,520	11,771,600	79,238,000		
コスト	人件費	2,285,700	2,748,166	3,034,583		
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	2,285,700	2,748,166	3,034,583		
	総事業費	5,952,220	14,519,766	82,272,583		
財源内訳	国庫支出金	881,000	3,009,000	32,400,000		
	県支出金		2,583,000			
	地方債		900,000	21,300,000		
	その他特定財源					
	一般財源	5,071,220	8,027,766	28,572,583		
	財源合計	5,952,220	14,519,766	82,272,583		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
修景整備助成件数	湯元通りらしい景観を実現		件	1	3	3
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
街路空間整備延長	公共施設の整備		m	0	0	300

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	民間建築物等の修景整備は、所有者等が主体となって実施し、町は補助金を交付し支援を行う。また、道路等公共施設の整備については、町で実施すべき事業である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	地区住民等の合意形成を図り、街路空間の整備方針についても地権者等の意見を取り入れ決定した。事業完了後には、費用に見合った効果が得られると考えている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	平成26年度にまちなみ協定を締結し、平成27年度には街路空間の整備計画案を取りまとめ、平成28年度からは整備計画案に基づき整備を開始し、平成30年度に完了予定である。事業の目的である街なみの創出や活性化について成果が得られてい
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	湯元通り地区における事業であり、修景整備に対する補助金は、まちなみ協定に同意した方に限定される。

平成28年度までの自己評価または改善点	概ねスケジュールどおり進捗している。平成30年度までに道路舗装等の公共施設については整備を完了する予定である。
---------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 国からの交付金を活用し実施している事業であるため、委託・指定管理の導入は難しいと考える。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	道路舗装等の公共施設の整備については、平成30年度の完了を目指す。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	平成30年度の完了を目指し、継続して事業を実施すること。
------	----------	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.138

平成29年6月22日作成

事業番号	1262	担当課等	まちづくり課							
事務事業名	万葉公園・周辺地区まちづくり事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	01	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P110 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	1 土地利用	(2) 駅前・まち並みの 整備	② 温泉場地区のまち並 整備
関連する個別計画					
目的	「平成28年度湯河原温泉場の地域資源の再生・活用検討調査」の成果を踏まえ、温泉場の中心的な区域のうち、特に、万葉公園及び湯河原観光会館の敷地を主対象区域として、官民の連携による万葉公園と観光会館の機能・施設の見直しや管理運営の質の向上を図る。				
対象	町民、観光客等				
内容	平成29年度は、委託により法令等与条件の調査、整理を行い、整備基本計画(案)を策定する。平成30年度以降では、整備基本計画に基づき、施設の整備や管理運営の見直しに取り組む。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費					10,000,000
コスト	人件費	常勤職員				3,277,350
		非常勤職員等				
	人件費合計	0	0	0	3,277,350	
総事業費	0	0	0	13,277,350		
財源内訳	国庫支出金				5,000,000	
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	0	8,277,350	
	財源合計	0	0	0	13,277,350	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
与条件・諸条件の整理の 進捗率	整備基本計画(案)策定 に影響するため。	%			100	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
整備基本計画(案)策定の 進捗率		%			100	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	
平成28年度までの自己評価または改善点		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	1 町が主体で調整し、財政計画を策定する必要があり、全ての業務を委託することはできないが、各種調査、計画策定等、業務の一部を委託することは可能。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	与条件の整理、法令上の諸条件の整理等を踏まえ基本整備計画(案)を策定し、その計画を基に整備計画、年次計画、財政計画等を検討する。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	本地区及び本地区周辺のまちづくりを推進するため、継続して事業を実施すること。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

<ul style="list-style-type: none"> ・将来計画において、事業費を平準化すること。 ・多方面と情報共有を図ることが重要となる。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.139

平成29年6月22日作成

事業番号	1297	担当課等	まちづくり課							
事務事業名	駅前広場整備工事完成式・完成イベント等開催事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	01	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P110 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	1 土地利用	(2) 駅前・まち並みの 整備	① 駅前地域の整備
関連する個別計画					
目的	平成21年度から協議、検討及び整備を実施した駅前広場が平成29年10月に完成することから、町民、事業関係者をお招きし、感謝の意を表すとともに、完成した駅前広場のお披露目を行う。				
対象	町民及び事業関係者				
内容	関係機関等と調整を行い、記念品や経過資料等の作成し、完成式、完成イベント及び完成祝賀会を開催する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
コスト	事業費			3,101,000		
	人件費	常勤職員			1,198,840	
		非常勤職員等				
		人件費合計	0	0	1,198,840	
	総事業費	0	0	4,299,840		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	4,299,840		
	財源合計	0	0	4,299,840		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
関係団体等との打合せ回数	開催内容等の調整	回			10	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
一般者参加人数 (抽選会参加者数)	イベントの成功の指標	人			700	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	
平成28年度までの自己評価または改善点		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 工事エリア内での開催であり、また、各関係者との調整が必要となるため、全ての業務を委託することはできないが、完成イベント、完成祝賀会等、事業の一部を委託する。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	
平成30年度以降の方向性	平成29年度で完了

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	平成29年10月1日に開催予定
------	----	-----------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	
------	----	--

平成29年度事務事業評価シート

No.140

平成29年6月22日作成

事業番号	1291	担当課等	まちづくり課							
事務事業名	都市計画基礎調査委託事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	01	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P110 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	1 土地利用	(1) 適切な土地利用 の推進	① 計画的な将来都市空 間構造の実現
関連する個別計画	湯河原町都市マスタープラン				
目的	都市政策の企画、立案及び都市計画の運用に資するため、調査を行うもの。 ※都市計画基礎調査は都市計画法において5年ごとの実施が規定されており平成29年度は第10回目となる。				
対象	町内全域				
内容	委託により土地利用現況、建物現況、都市施設、市街化整備状況等について調査し、神奈川県にその結果を報告する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)	
コスト	事業費			7,992,000	
	人件費	常勤職員		910,375	
		非常勤職員等			
		人件費合計	0	0	910,375
	総事業費	0	0	8,902,375	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金			3,209,000	
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	5,693,375	
財源合計	0	0	8,902,375		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
調査項目設定件数	町が必要とする調査項目 の選定	項目			19
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
調査項目実施件数	調査項目の確実な実施	項目			19

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	
平成28年度までの自己評価または改善点		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	
平成30年度以降の方向性	事業は平成29年度で完了

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	平成30年2月28日までに委託業務を完了すること。
------	----	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了
------	----

平成29年度事務事業評価シート

No.141

平成29年6月22日作成

事業番号	1292	担当課等	まちづくり課							
事務事業名	駅周辺地区案内板整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	01	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P110 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	1 土地利用	(2) 駅前・まち並みの 整備	① 駅前地域の整備
関連する個別計画	都市再生整備計画(湯河原駅周辺地区)				
目的	社会資本整備総合交付金を活用し、駅下周辺地図に現在地、公共施設、病院、観光施設等を案内板へ掲載することにより、駅下地区の地理を分かりやすく表示する。				
対象	町民、観光客等				
内容	駅下地区の町内施設等の案内及び町民・観光客等の移動をスムーズに行うことを目的として案内板を駅周辺に6か所設置するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)	
コスト	事業費			5,282,000	
	人件費			1,213,833	
	常勤職員				
	非常勤職員等				
	人件費合計	0	0	1,213,833	
	総事業費	0	0	6,495,833	
財源内訳	国庫支出金			2,100,000	
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	4,395,833	
	財源合計	0	0	6,495,833	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
案内板設置箇所数	利用者の目に留まりやすい 数の設置が必要なため	箇所			6
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	
平成28年度までの自己評価または改善点		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業内容が案内板の設置工事であるため。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)		
平成30年度以降の方向性	平成29年度で完了	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	平成29年度末で本事業を終了すること。
------	----	---------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	
------	----	--